

平成 27 年 10 月 5 日

自然史標本コレクションの電子化に関するアンケートへの協力をお願い

GBIF 日本ノード (JBIF)

科博 細矢

皆様

日頃S-Net/GBIF* (文末の解説参照) の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

この程、GBIF (地球規模生物多様性情報機構) 本部から、各国の自然史標本保存機関宛てに自然史標本コレクションについてのアンケートが送られてきました。その日本語版を添付いたします (和訳: JBIF=GBIF日本ノード)。

アンケートはGBIFの「生物コレクションデータ発掘促進委員会 ([GBIF Task Force on Accelerating Discovery of Biocollections Data](#))」によるものです。GBIFの集積情報を増やす上で電子化されていない自然史標本コレクションを発掘することが欠かせないことから、世界各地の自然史標本コレクションの電子化の進捗状況を把握するために作成されたアンケートということです。

内容を見ますと、貴機関の分野ごとのコレクション数、電子化の割合、など、先日の日本分類学会やS-Netからのアンケートと重なる質問が多くみられます。皆様には、何度も同じ質問が行くことになりまして、申し訳ありません。

しかし、本アンケートでは、画像データの扱いや、電子化に対する補助金、電子化のための人材など、今後GBIFが標本情報の電子化推進のための戦略を考える上で、各博物館の具体的な状況を問う内容となっています。世界レベルでアンケート結果が集まった結果、日本のコレクション電子化の世界の中での進捗状況、日本独自の課題などが明らかになることが期待されます。

つきましては、お忙しい所、皆様にはご面倒をお掛けいたしますが、このアンケートには是非ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

送付期限：2015年10月16日

返送先：noffice1@kahaku.go.jp

問い合わせ先：GBIF日本ノード (JBIF) 中江雅典 (nakae@kahaku.go.jp)

なお、GBIFからアンケートの集計結果が来ましたら、皆様にも是非お知らせしたいと思います。個々の機関のアンケートの内容を、GBIF・国立科学博物館により無断で一般に公開することはありませんので、連絡先メールアドレスもご記入いただけますようお願いいたします。

PS. アンケートのチェック欄はクリックで入力できるようにしてありますが、動作環境により、

使用できない場合もございます。その場合には、お手数ですが、pdf版にて回答をお願いいたします。

【解説】 GBIF, S-Net について

GBIF

GBIF（地球規模生物多様性情報機構）はインターネットを介して、世界の生物多様性情報を共有し、誰でも自由に利用できる仕組みをつくっています。GBIFで維持されているデータは自然史標本データおよび観察データが中心であり、そのデータ収集は世界各地からの貢献に基づいています。現在では、およそ5億7千万以上の情報が集積されています。日本からの自然史標本データはS-Net*を通じて国内に発信されるとともに、GBIFを通じて国外にも発信されています。

ウェブページ：<http://www.gbif.org/>

S-Net

サイエンスミュージアムネットの略称で、国立科学博物館が運営する自然史系博物館や科学館に関する情報ポータルサイトです。国内の博物館・研究機関71機関が提供する自然史標本情報を日本語で検索できるほか、各館イベントやホームページ内のコンテンツ、研究員・学芸員を検索できます。

ウェブページ：<http://science-net.kahaku.go.jp/>